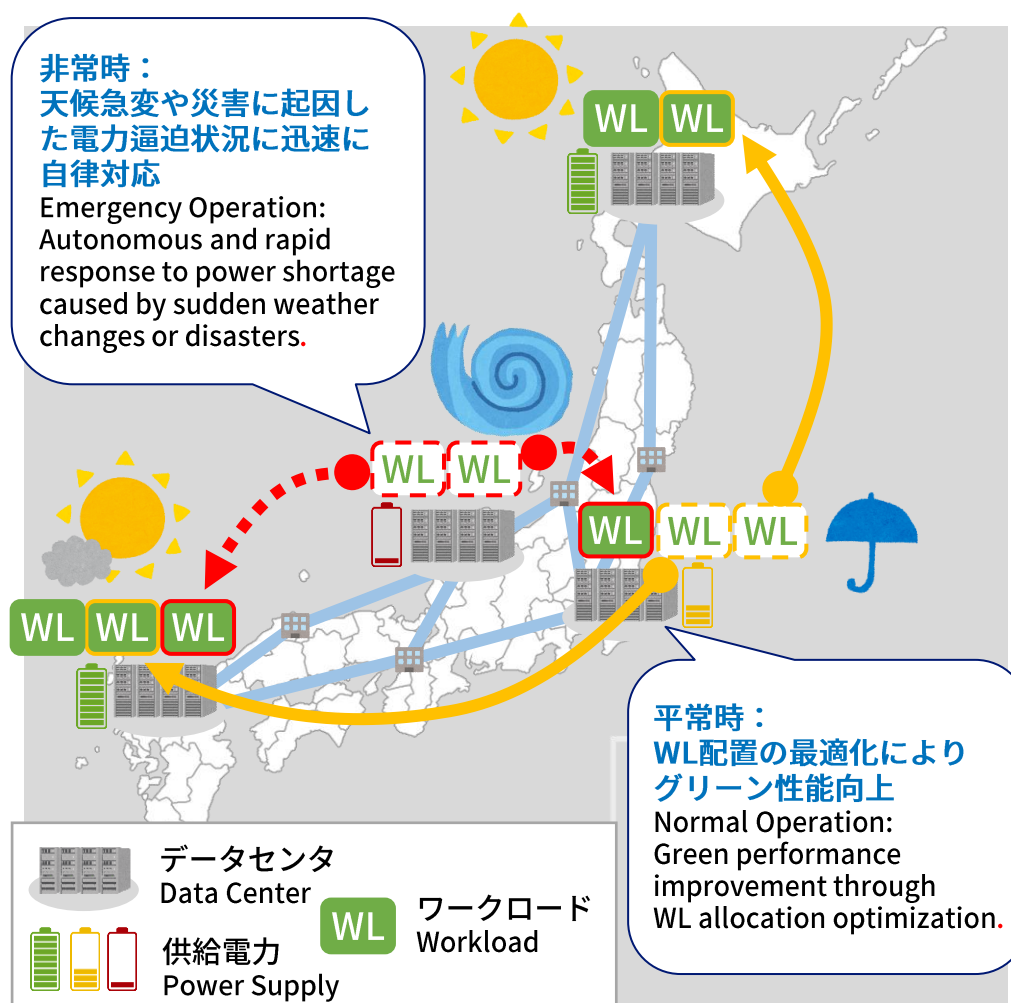


災害に自律対応するICTリソース制御 電力需給やリソースの変動に柔軟に適応可能な ICTサービスを実現します

#レジリエンス #業務効率化 #グリーントランスフォーメーション



////技術課題

サービス維持のために制御が必要ですが、制御に伴う過渡的なトラヒック／電力増が与えるサービス影響を考慮できません。

////研究目標

リソースが逼迫する非常時に、回線の輻輳や電力不足を防止することにより、停電影響によるサービス停止時間を99%削減します。

---要素技術

ICTサービス・電力需給の過渡特性（制御中のサービス・消費電力影響）を新たにモデル化し、回線の輻輳や電力逼迫を防止した上で、時間的・空間的に高効率なリソース割当を求解する独自の数理最適化アルゴリズム

---市中技術差異点

従来技術では制御によるトラヒックや電力の追加負荷が考慮されておらず電力逼迫や輻輳のリスクがあったが、本技術はこれらの過渡特性をモデル化しているため、制御実行中でも電力逼迫や輻輳を防ぎながら、変化する電力状況やサービスに迅速に対応可能

---適用ビジネス

情報通信業分野において、分散データセンタやクラウド／オンプレDCを複数活用するお客様に対して、BCP対策や電気料金の低減、出力抑制などで捨てられてしまう再エネの有効活用によるグリーン化貢献などのユースケースに活用可能（基礎技術確立予定時期：2024年度、プロトタイプ完成予定時期：2025年度、実証完了予定時期：2027年度）